

COLUMN



インターネット

生活向上委員会

12

高機能 Web サイトを 手軽に構築

藤井 直人 ((株)インターネットイニシアティブ)
fujii@osaka.ij.ad.jp

もともとWWWはHTMLで構造化されたドキュメント間をハイパーリンクで相互参照可能にし、誰もが簡単に情報を発信できるようにしたことが特徴のシステムであった。さらに画像も含めてグラフィカルに表示できるブラウザが登場し、続いてCGIという仕組みでデータのやりとりを行いながら動的なページを生成することが可能になったおかげで、今ではインターネットの標準的なアプリケーション基盤となっている。

ところが高機能化に比例して、Webサイトの保持するドキュメントや画像ファイル、CGIプログラムとそれが利用するデータなどのコンテンツの量と種類は爆発的に増加している。これら相互に関連した大量のコンテンツを構築し、さらには継続的に追加や変更などの保守をしていくためには、人手に頼らない何らかの仕組みが必要となってくる。

みなさんご自分のWebサイトで以下のような経験をされたことはないだろうか？

- (1) サイトが大規模になったので複数人のチームで管理しているが、バージョン管理やレイアウトの同時変更が面倒だ。
- (2) 最近流行りの新機能を自分のサイトにも導入したいが、インストール手順が複雑で二の足を踏んでしまう。

今回はこれらの問題を解決する、Webアプリケーションサーバやコンテンツ管理システム(CMS)と呼ばれるいくつかのモドルウェアを紹介しよう。

● Zope(ゾープ)^{1), 2)} ●

Zopeとは動的なWebアプリケーションサーバを手軽に構築できるプラットフォームで、多数のWebコンテンツを統一的に管理できる仕組みを持っている。OSS(オープンソースソフトウェア)として開発されており、ZPLというライセンスのもとで配布されているのが特徴だ。中身は主にPythonという言語で記述されており、Windows NT/2000/XP, Linux, FreeBSD, Solaris, MacOS Xなど多様なOSのもとで動作する。

インストールした後は図-1のようにすべてWebブラウザを通して使うだけでコンテンツ管理や動的機能の開発が可能となる。ZopeのもとではHTMLドキュメントも動作を記述したプログラムも同様にオブジェクトとして統一的に管理され、またZope自身がOODBを内蔵しており変更履歴の参照や任意の時点へのundoも可能なため、保守や共同作業がやりやすいというメリットがある。

Zopeでのコンテンツの記述はDTML(Dynamic Template Markup Language)というテンプレート用の言語を使用する。これにより動的なページと静的なページの統一的な管理や、複数のページをまたがるレイアウト変更などが容易になっている。

● Plone(プローン)^{3), 4)} ●

ZopeにはProductと呼ばれるプラグインの仕組みがあり、これを用いることによりいろいろな機能を拡張できるようになっている。そのProductの1つにCMFという名前の、コンテンツ管理システムを構築するためのフレームワークがある。これをベースにインタフェースを使いやすくしたCMSアプリケーションがPloneである。

PloneはZope上にProductとしてインストールされるが、インタフェースは図-2のように多言語化されており親しみやすいものになっている。特徴としてはCMSの名

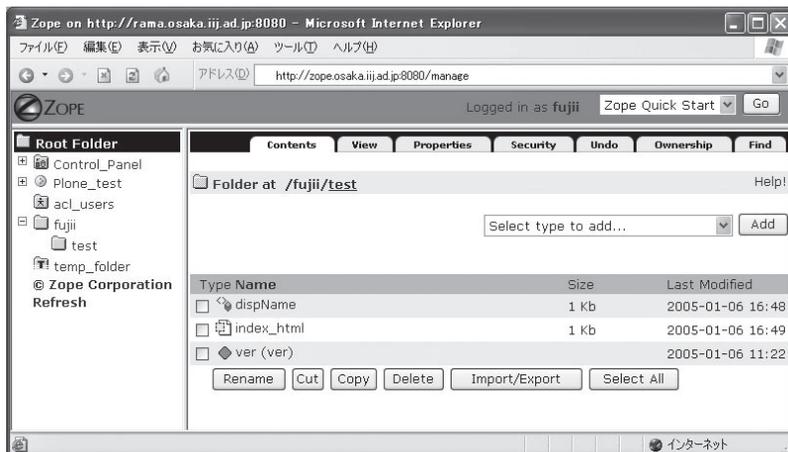


図-1 Zopeの管理画面



図-2 Ploneの管理画面



図-3 XOOPSの管理画面

前の通りコンテンツの管理機能が優れており、複数のメンバでコンテンツの更新を行う場合の「ワークフロー」という機能が実装されている。

ワークフローには状態、遷移、ロール（役割）という概念があり、それぞれのドキュメントは可視（visible）、保留、公開、私的という状態を持っている。役割には anonymous（無名）メンバ、所有者、レビューワ、マネージャなどがあり、権限のあるものだけがドキュメントの状態を変更（遷移）させることができる。

ワークフローは独自のカスタマイズもできるので、各サイトやコンテンツによってルールを変更して使いやすい管理体制を作ることができる。

●XOOPS(ズープス)^{5), 6)}●

XOOPSは、ポータルやコミュニティサイトを手軽に作成し運営するためのパッケージである。前述の2者と同じくインストールの後はすべての設定がWebブラウザから可能となっている。また、モジュールと呼ばれる機能が豊富で、追加や設定も容易なことが特徴である。

代表的なポータル機能としては、ユーザ管理、掲示板（フォーラム）、投票（アンケート）、新着情報（ニュース）、FAQなどがあり、これらのモジュールは管理画面でインストールボタンを押すと自動的にサイトに組み込まれる。その後は画面を構成するブロックをページレイアウトに張り付けるような感じで配置するだけで、手軽に多機能のWebサイトができあがる。

ページデザインを変更したい場合はテーマという仕組みが用意されており、また機能を拡張したい場合も追加のモジュールを文献6) などから探してきてインストールすることで自分のサイトを簡単に高機能化することができる。

参考文献

- 1) <http://www.zope.com/>
- 2) <http://www.zope.jp/>
- 3) <http://www.plone.org/>
- 4) <http://plone.jp/>
- 5) <http://www.xoops.org/>
- 6) <http://jp.xoops.org/>

(平成17年1月25日受付)